

富山市SDGs未来都市について

富山市SDGs未来都市の全体概要（将来ビジョン・取組・普及展開）

将来ビジョン

2030年のあるべき姿	優先的にとり上げるSDGs目標
【目指す将来像】コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現	目標11：まちづくり 目標17：パートナーシップ
・ 経済価値 ：市内企業の活性化や新技術の活用等により、持続可能な付加価値を創造し続けるまち	目標 9：産業・技術革新
・ 社会価値 ：健康・医療、子育て・教育環境の充実等により、一人ひとりが個性を發揮し、活力あるまち	目標 3：健康・福祉
・ 環境価値 ：低炭素・エネルギーの有効利用等により、雄大な自然と調和し、誰もが暮らしたいまち	目標 7：エネルギー

自治体SDGsの推進に資する取組

【取組概要】

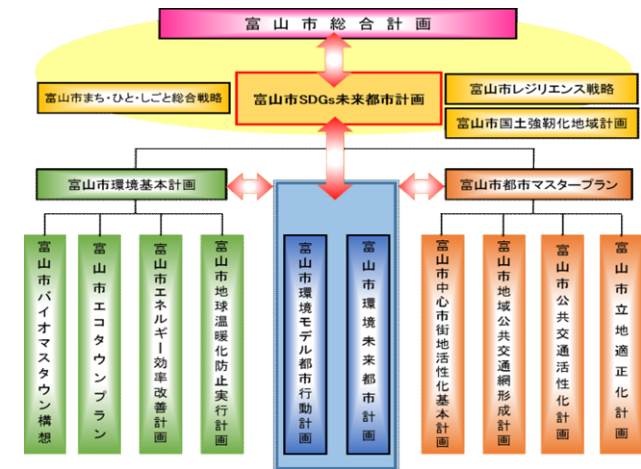
- ①都市のかたち：公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現**
 地域生活拠点とのネットワーク機能を高める「コンパクトシティ」へ
- ②市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフ・ワークスタイルの確立**
 地域が一体となり健康・子育て・教育環境を充実させる「ヘルシー&交流シティ」へ
- ③エネルギー：セーフ&環境スマートシティの実現と地域エネルギーマネジメントの確立**
 レジリエンスと低炭素化等の取組の融合による「セーフ&環境スマートシティ」へ
- ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造**
 市内企業の活性化や新技術の活用等による「技術・社会イノベーション創造都市」へ
- ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上**
 官民連携・ダイバーシティ・国際展開による都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」へ

【情報発信・普及啓発、モデル事業の普及展開】

モデル事業の普及展開は、国際機関、国内自治体との連携により、地方都市に適用可能なモデル形成を先導。

（方策）

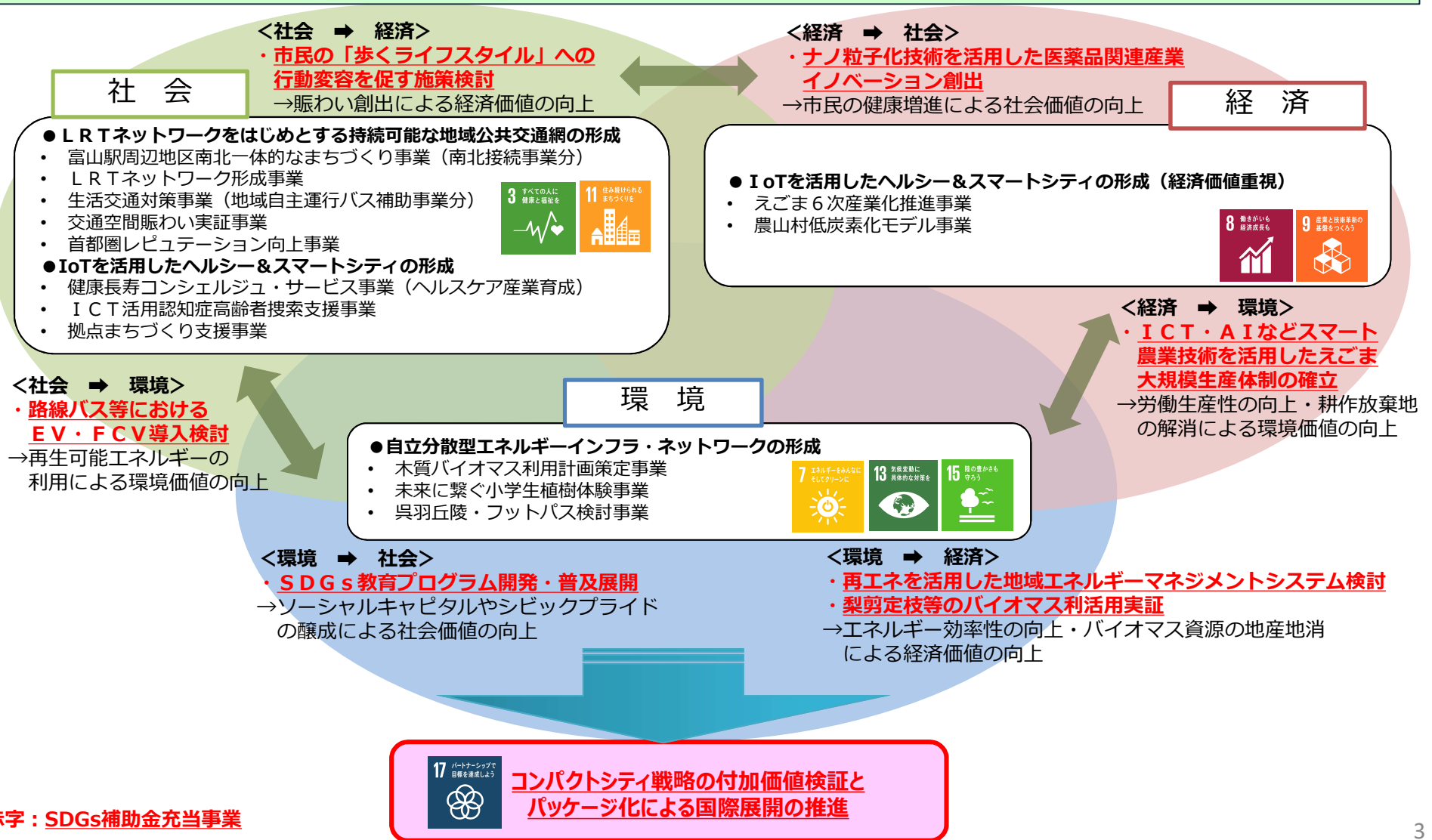
- 国際ネットワーク（世界銀行、JICA、イクレイ、ロックフェラー財団等）との連携
- 環境モデル都市や環境未来都市の取組みにおける産学官民連携基盤（コンソーシアム）の活用
- 市民・企業への普及啓発を目的とした「富山市SDGs推進フォーラム」の開催
- のりもの語り教育や、各種環境教育プログラムを融合した「SDGs教育」の実施



富山市SDGs未来都市モデル事業

取組内容：LRTネットワークと自立分散型エネルギーマネジメントの融合によるコンパクトシティの深化

本市がこれまで進めてきたLRTネットワークをはじめとする公共交通活性化施策に加え、再生可能エネルギー等の地域資源の地産地消を達成する自立分散型エネルギーマネジメントとを融合させることにより、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを深化させ、技術・社会イノベーションを創出し、持続可能な付加価値創造都市を目指す。



赤字：SDGs補助金充当事業

富山市SDGs未来都市の全体概要（推進体制）

取組の実施可能性・推進体制

- 「富山市SDGs未来都市計画」を策定し、関連事業を推進するとともに、総合計画、環境基本計画等の計画の改訂時にSDGsを反映
- 「富山市SDGs未来都市戦略会議」を設置し、ワーキンググループに個別プロジェクトを位置付け、P D C Aサイクルを実施。
- 庁内組織で構成する「富山市SDGs未来都市推進本部」を発足し、SDGs未来都市戦略会議との連携を図る。また、課題別タスクフォースで出された政策アイデアをSDGs個別プロジェクトに反映。
- 国内外の都市・関係機関とのネットワークを活かし、地方都市モデルを世界に発信

